

石油コンビナート保安カレンダー

～川崎臨海部コンビナートの取組～

年間を通じた立入検査や防災訓練、会議などにより
臨海部コンビナートの安全を高めています。

1月

- 出初式 ー臨港地区消防出初式ー
- 「防災とボランティアの日」1月17日
「防災とボランティア週間」15日から21日まで
- 事故防止に関する立入検査(8事業所)
- 「文化財防火デー」(1月26日)



関係機関の船舶による一斉放水

2月

3月

- 春の火災予防運動(1日～7日)
- 移動タンク貯蔵所の常置場所立入検査
検査台数291台
- 移動タンク貯蔵所の充てん所における立入検査
充てん所(検査台数23台)
- 防災研修会(消防協力団体等)
- 川崎市コンビナート安全対策委員会(毎月開催)
- 川崎市危険物保安研究会(毎月開催)



臨港地区消防出初式
事業所の所有する防災組織の消防車両行進

4月

5月

6月

- 危険物安全週間
第2週(日曜日から土曜日までの1週間)
- 事業所の安全担当者講習会(約600名)
- 大規模石油化学工場等の特別検査(44事業所対象)～10月
- 出水期の防災訓練
- 防災研修会(消防協力団体等)
- 大型化学消防車等による泡放射訓練



文化財防火デーの防災訓練
(昭和電工川崎事業所本事務所(国登録有形文化財))
文化財を火災から守る防災訓練



川崎市コンビナート安全対策委員会

川崎市における石油コンビナート地帯の安全に関する諸問題や発生した事故などを調査審議するため、毎月、開催しています。
その取りまとめた成果は、川崎市長へ報告すると共に、関係局、所轄署と情報共有し、業務や災害防止などに役立てています。

川崎市危険物保安研究会

危険物及び石油等の貯蔵・取扱いに関する課題等を調査、研究し、その安全確保を推進するため、毎月開催しています。

臨港工場消防協議会

臨港消防署管内における工場火災を未然に防止し、企業の健全な発展と公共の安全を確保するため、定期的開催しています。

川崎市では、毎月15日が「市民地震防災デー」になっています。

月ごとに掲載の数字は、平成24年度の実績を参考に掲載しています。

7月

- 共同防災等相互応援に伴う情報連絡会(年間3回開催)
- 各地区防災協議会による総合防災訓練の実施

8月

- 「防災の日」(9月1日)及び「防災週間」
(8月30日から9月5日まで)



事業所の防災訓練
放水する大型消防船「青海(おおみ)2号」
(東燃ゼネラル石油株式会社)

10月

11月

- 秋の火災予防運動(9日～15日)
- 移動タンク貯蔵所及び充てん所の所有者・管理者講習会
- 移動タンク貯蔵所の常置場所立入検査 検査台数390台
- 移動タンク貯蔵所の充てん所における立入検査
路上検査(検査台数23台)、充てん所(検査台数30台)
- 共同防災等相互応援に係る合同訓練
- 東京湾相互応援訓練

12月

- 特定事業所の夜間特別立入検査(20事業所)～3月



東京湾相互応援訓練
放水する消防艇「第5川崎丸」
(川崎市消防局)



事業所による防災訓練
毎月の訓練のほか、関係機関が一堂に会する大規模訓練の実施

行政機関による合同立入検査
事業所に対し、神奈川県、川崎市、海上保安庁など関係機関で合同立入検査の実施(秋～2月頃)



石油コンビナートワンポイント

事業所の挨拶は「ご安全に！」～事業所に生きる 安全文化～

事業所の正門から入ると、まず、「ご安全に」の挨拶が交わされます。事務所や生産ライン、会議から訓練まで、顔を合わせる場で幅広く行われている挨拶の言葉です。
古くは、安全環境が十分に整っていなかった時代に、同僚やお互いの安全を願って交わされた言葉が、今も、日常会話に生きています。